

町の人口

昭和43年9月1日現在  
 住民台帳人口36,523人

内	男	17,961人
	女	18,562人
世帯数		10,700戸
(増)		295人
8月中		(減) 257人

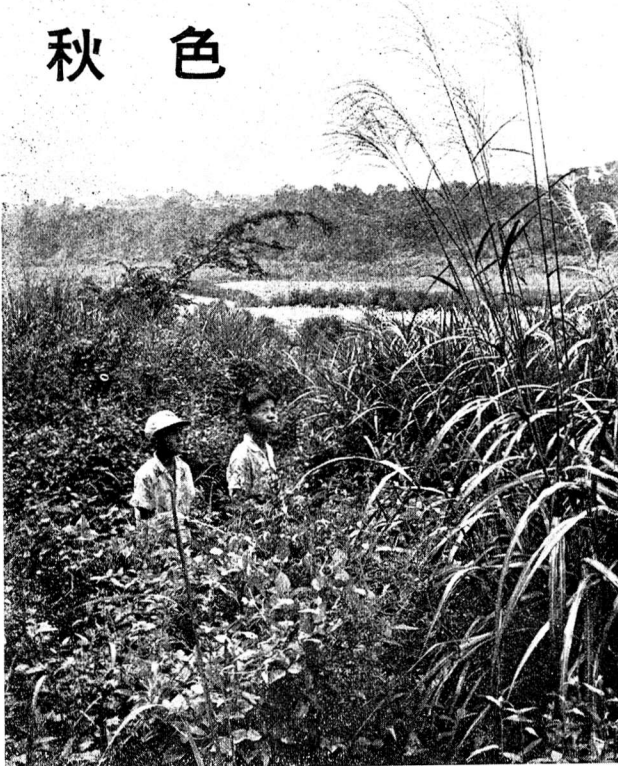


1968. 9. 7.

No. 86

発行所 福生町役場  
 発行兼 企画調査室  
 編集人  
 電話51-1511・内線204

# 秋色



ゆ  
れ  
る  
す  
す  
き

うだるような暑さもいつしか去って、吹く風にも初秋を肌を感じる頃となりました。

ここ多摩川べりにも、揺れるすすきの穂先に赤トンボが飛びかい猛暑に支配された自然も、しのびよる秋の訪れを告げています。

残暑の照り返しにもすでにま夏のはげしさはなく、次第に増す朝夕の涼気と共に、いよいよ快適な日本の秋、がはじまります。

## 季節の話題

### 秋の月

月々に月見る月は多けれど  
 月みる月はこの月の月  
 わたくしたちは、四季を通じて  
 月を眺めることができますが、最も美しいのはやはり秋の月です。  
 古人が月の名所を尋ね歌を読み  
 明月の夜は明け方まで月を眺め歩いたことは古文にもよく見られますが、月の美しさは古くから風雅を解する人の心をとらえたようです。

さわやかな秋の夜空に浮ぶ月を見ると、世俗のチリも落される感じがいたしますが、照明の発達していない昔はことさらにその美しさが古人の心をとらえたのでしよう。

各月や池をめぐりて  
 夜もすがら

という句にも、自然と生活との結びつきが如実にあらわれています。

現在では、日常生活の中に月は昔ほどはとけこまず、せいぜい一部の家庭で、仲秋の名月にススキやだんごなどを添えて月を眺めるにすぎません。

しかし、美しい月を眺めると心が洗われます。町の都市化が進み、草むらにすだく虫の音を聞きながら月を見るなどということは困難になりましたが、自然の美しさがつぎつぎと失われていく今日この頃、あらためて秋の明月を見、虫の音を傾けては、いかがでしょうか。



# わずかな加入金で万一にそなえる 交通災害共済に加入しましょう

増える車、増える事故、交通問題は現在大きな社会問題となり「安全運動」が盛んに叫ばれていますが、依然として事故はあとをたちません町では、このたび交通被災者を助けるため、他の町村と協力して、10月1日から交通災害共済制度を実施することになりました。

これは、「恐ろしい交通事故」によってけがをしたり、不幸にも死亡したような場合、みなさんが前もって掛け金をして、互に助け合う制度です。万一にそなえ、一人でも多く加入くださいますようお願いいたします



## 加入できる人

福生町の住民基本台帳に登録されている人、または外国人登録をされている人

## 会費

年額二五〇円 小人(中学生以下)一〇〇円  
ただし、昭和四十三年度については、年度途中のため、大人一五〇円、小人(中学生以下)一〇〇円

## 加入申込受付期間

毎年三月一日から三月三十一日まで。

ただし、昭和四十三年度については、九月五日～三十日

## 加入申込方法

加入申込用紙は、九月初旬みな

さんのご家庭へ配布いたします。

加入希望者は、必要事項を記入し、加入金を添えて、各町会長さんにお申し込みください。

ただし、加美平岡地、熊平、福牛第三町会は、町会長さんが取り扱っていただきますので、つぎの日程で出張受付を行いません。

九月十七日 於加美平岡地集会所

九月十八日 於熊平会館

九月十九日 福生町自治会館  
受付時間はいずれも午前十時から午後四時まで。

なお、予約受付期間後の取扱については、直接住民課窓口にお出かけください。

## 共済責任期間

毎年四月一日から翌年三月三十一日まで、ただし、昭和四十三年度については、十月一日から昭和四十四年三月三十一日まで。

共済期間の途中で申し込まれた場合は、加入申込みをされた日の翌日から共済制度が適用されます。

## 見舞金

### 共済見舞金

- 死亡の場合……………50万円
- 全治一年以上の場合……………15万円
- 全治六カ月以上の場合……………10万円
- 全治三カ月以上の場合……………5万円

全治一カ月以上の場合……………2万円

全治一週間以上の場合……………5千円

全治一週間未満の場合……………2千円

## 身体障害者見舞金

交通災害による傷害で、その日から一年以内に、眼がみえなくなったり、手足がさかなくなったり、呼吸器などの障害などがおこり、身体障害者福祉法に基づき一級または二級の身体障害者になった場合には、十万円が支給されます。

## 適用される交通災害

道路交通法にもとづく車両(自動車、原動機付自転車、自転車及びトロリーバス(電車、汽車を除く)の交通により発生した人身事故で、日本国内で発生した事故でも適用されます。

## 見舞金をうけるには

見舞金の請求は、役場総務課交通災害共済係へ請求してください。

なお、見舞金の請求期限は、交通事故が発生した日から二年ですので、この期間に請求しないと効力を失うこととなりますからご注意ください。  
その他、詳しいことは、交通災害共済係へお問い合わせください。

## 福生町役場職員募集

つぎにより福生町役場職員を募集します。  
職種 事務、技術、消防  
人員 若干名  
資格 昭和44年3月高校または大学卒業見込みの者(ただし、消防職員は、25才以下の男子なら可)  
申込〆切 昭和43年9月30日  
申込先 福生町役場企画調査室 在学校の卒業見込書、成績証明書、履歴書(白筆、写真添付)を提出してください

## いよいよ台風シーズン



強風に対して万全の準備を  
いよいよ本格的な台風シーズンが近づいてきました。  
毎年9月末の台風は関東、東海地方を襲うものが多く、大きな被害を残しています。  
一昨年の26号台風は、福生町に多くの強風による被害を残しました。台風シーズンをむかえ、家の周囲を十分点検し、被害を防ぎましょう。

周囲を十分点検し、被害を防ぎましょう。

# 満七十五歳以上のみなさんに

## 福生町からも敬老金を贈呈

満七十五歳以上のみなさんには九月十五日に東京都から敬老金が支給されていましたが、今年から福生町からも敬老金を贈呈することになりました。

これは、町でも長い開校会のために尽してきた方の長方を祝い、敬老の意を表わすために行なうもので、つぎにより贈呈されます。

- 1、満75歳以上であること
- 2、福生町に住居登録していること

福生町に一年以上住んでいること（昭和42年9月16日以前から住んでいること。ただし、そ

の日以降老人ホームなどに入っ  
た方も含みます）

### 支給額

- 80歳未満……………一、〇〇〇円
- 80歳以上……………二、〇〇〇円
- 90歳未満……………三、〇〇〇円
- 90歳以上……………四、〇〇〇円

### 贈呈の方法

該当者の家庭を、九月十五日に民生委員さんが訪問して贈呈します。なお、東京都の敬老金も同時に支給します。

該当者で九月十五日に敬老金が贈呈されなかった場合は、民生課福祉係に連絡してください。

# 生活にスポーツを

## —みんなで出かけてください—

だれでも気軽に楽しいスポーツをと教育委員会ではスポーツ教室を開催しております。技術的な指導は、町の体育指導員がかわかいますので、はじめての方も気軽にご参加ください。

### ▷体操とフォークダンス教室

お母さん方を対象に行なっています。  
毎月第3土曜日 午後2時 於福生武道館  
第4水曜日 午後7時 於2中体育館

### ▷バレーボール教室

練習と試合を中心におこないます。現在23名のお母さん方や若い人たちが参加しています。  
毎月第2木曜日 午後7時 於1小体育館

### ▷卓球教室

ラケットも持ってきてください。  
毎月第3木曜日 午後7時 於2中体育館  
第4木曜日 午後7時 於1小体育館



▷バドミントン教室  
やぎしいスポーツです。  
毎月第4木曜日 午後7時 於1小体育館

# みんなで町を美しく

9月19日/25日

## 福生町をきれいにする週間

明るく美しい東京にしようと、東京都では、公德心の高揚と、環境整備に重点をおき、首都美化運動を呼びかけていますが、福生町でも、つぎにより美化運動を行ないますので、みなさんのご協力をお願いします。

### 重点目標

- ▽ 紙くずや吸いがらを捨てない
- ▽ 家や店のまわりをきれいに
- ▽ ごみ容器を正しく取扱う
- ▽ 路上にみだりにものを置かない
- ▽ 下水のごみや泥の始末
- ▽ 犬のふんをなくす
- ▽ 排出されたゴミ等の収集

25日に各じふ弁車停留所に持ち出してください。一般（ホリバケツ）のもの一語に収集します。

### 持ち出しの注意

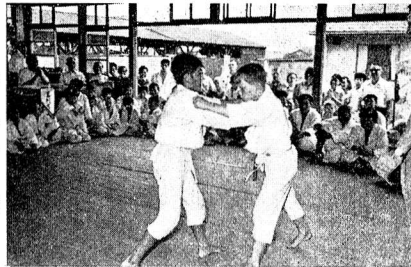
- ▽ 大きいもの（木の枝）は、50センチぐらいにして出してください。
- ▽ 持ち出すものは、すべて持ち運びできるようにたためて出してください。
- ▽ 燃えないもの（灰、空き缶、空缶、ガラス等）は翌日の20日（木）に出してください。

## 日米交歓もかねた青少年柔道大会

福生町青少年問題協議会と柔道連盟共催による青少年柔道大会は8月23日午後1時から福生町武道館でおこなわれました。

参加者165名で、小学生、中学生、高校一般と各クラスに熱戦が展開されましたが、アメリカ人の参加者や応援者が多く、試合はさながら日米対抗のようでした。成績はつぎのとおりです。

- 小学生の部 優勝 ロビンソン、2位 鯉川 修、3位 三浦睦男
- 中学生の部 優勝 高水正博、2位 尾作文男、3位 車東豊明、高校一般の部 優勝 島田品寛、2位 大塚英男、3位 大関清和



## 福生町生活学校はじまる



主婦の方々が中心となり、家庭生活の中で身近な問題をお互に研究していこうと、福生町生活学校が、8月30日午後1時から保健所の方々が会員65名が参加して、福生町役場で開かれました。

第1回の研究テーマは、「加工食品と添加物、着色料などで問題になっているだけに、保健所の方を中心にみんな熱心に研究していました。

なお、今後は来年の3月まで専門家や業者の方々もお招きして10回の研究会を進め、お互の生活をよくしていこうと、会員のみなさんはとてまはりきっています。

# この人に聞く

## 福生の百年 (その3)

⑬

森田	六助	氏	90才
明治11年	生		
細谷	喜蔵	氏	78才
明治23年	生		



今月は、福生町発展のかくれた功労者森田六助氏のお話をお聞きしました。氏は現在九十才、福生病院に入院中で、あまり長時間話を聞かせないので、氏と親交のあった細谷喜蔵さんのお話を合せてお伺いしました。

大正時代の福生駅の東口は……

ほとんど如くでした。今の横田基地のある一帯は山林で、大きな木がたくさん繁り、当時材木屋をやっていたが、よい材木がたくさんありました。

八高線の誘致には、大変お骨折りだったそうで……  
とにかく運動をはじめて十数年もかかったかな。はじめ砂川の方を通る予定だったのは、是非福生駅へ通してもらいたいと、当時の代議士八並先生を通じて、東京へ日参しました。

先代の田村半郎さん、それが

ら井上右右衛門さんが熱心で、わたしは番頭みたいなものでした。やっと福生へ通してもいいという事になって測量をはじめたのが大正十三年頃でしたか……

町の資料によると、大正十五年に、福生駅へ通するように請願していますが……

八王子から福生駅へ通するには秋川と多摩川の二つの鉄橋が必要であり、地形的にもだめでした。

とにかく、福生の地域を通してもらうまでが大変だったのです。東飯能まで開通したのが昭和六年十二月です。それから、ぶんかり

誘致運動にはずいぶん方々をまわったのでしょね

当時上野にある鉄道省へよく出かけました。また代議士の八並さんに頼むには、やはり選挙で当選してもらわなければならぬので、西多摩郡一帯を八並さんの選挙運動でよく歩きました。

松原や小河内までとまると一カ月以上もかかると大変でした。五〇銭で買取したとか、されたとか問題になったこともありま

す。こんなわけで、自分の小遣をよく使いました。とっておけば、今ももっと金持ちになっていたかも知れませんか(笑)

八高線に東福生駅ができてから青梅線の福生駅とを結ぶ道路建設にも大変努力されたそうですが……

ええ、東福生駅ができましたが

駅へ通じる十分な道もなく、どうしても両駅を結ぶ道路が必要と考えたのです。

わたしは材木屋をやっていた関係で多少測量もできたので、地主さんとの交渉や測量などもやりま

した。当時の交差は一面桑畑でしたがみんなとてもよく協力してくれ、今の富士見通りができたので

す。

七町内にある不動様の建設もされたそうですが……

大正時代の福生駅東口には何もなくて、とにかく東口を發展させるには、人を呼びよせようと思成田の不動様を分けてもらって、今の所へ安置しました。

当時は信者も多く、なかなか盛んで、相撲や芝居、サーカスなどもよくやったものです。

現在の銀座通りの建設もなされたそうですが……

ええ、当時は福生駅前が牛浜までは家もまばらで、十分な道もなかったのです。町の将来の發展にはどうしてもまっすぐな道が必要であると考えつくったので

す。測量や地主との交渉などわたしがやりました。

そうしますと、町のためにはずいぶん活躍なさったわけですね



氏は現在病気で入院中のため、十分な話を聞けませんでしたので、氏と親交のあった細谷喜三さんにもお話を伺いました。

六助さんはどんな人でしたか

わたしは六さんに頼まれて、一緒に測量しました。

あの人はずいぶん頼りた人です。人の話ですが、八高線の誘致で代議士に陳情に行ったとき、待たされている間にぐうぐう寝てしまいい先生がくるとうそ起きて話をばいじましたということ。その時の代議士が「俺の所にきて寝たのは、おまえだけだ。おまえはたいたいものだ」といわれたと聞いています。

政治運動もたいぶなされたそうですね

当時は憲政会と政友会に別れていて、六さんは八並さんの憲政会の運動をしていました。福生町は政友会が多く、それだけに苦労したようです。

秋多町の二宮に劇場がありました。そこで東京市長の尾崎行雄先生を連れてきて演説させたのも六さんの働きだと聞いています

細谷さんか、村会議員をなされたのは、いつ頃ですか

昭和十五年頃で福生町が生れた年です。それ以前は、福生村、熊川村組合村だったわけですね。

この両村の合併はなかなか大変でした。かなり前から話がありながら実現せず、ちょうど紀元二六〇〇年記念ということで話がまとまったわけです。

初代の町長はだれでしたか

田村半郎さんです。どうしても合併してもらうには、田村さんに出てもらわなければ、話がまとまらないと思いい、議会と相談して無理にお願いしました。

当時は福生駅前は今ほどにぎやかでなく、むしろ税金は古い部落の方が多かったのです。このため、熊川地区にしてみれば、税金が福生地区につきこまれるというように考えから相当反対もありました。

熊川で合併の説明会をした時など、朝方までかかったこともありました。

昭和十五年の十一月に両村が合併して福生町ができましたが、合併ということは簡単に出来さうでいざとなるとなかなかいろいろな問題が出て難かしいものです。

しかし、この合併が今日の町の發展の基礎になっていると思えます。

村会議員として活躍した両氏のお話には、大正から昭和初期にかけての先代の人たちの深い郷土愛と並々ならぬ労苦が感じられ、これ等の努力が現在の福生町をささえていることを痛感いたしました。

村会議員として活躍した両氏のお話には、大正から昭和初期にかけての先代の人たちの深い郷土愛と並々ならぬ労苦が感じられ、これ等の努力が現在の福生町をささえていることを痛感いたしました。

村会議員として活躍した両氏のお話には、大正から昭和初期にかけての先代の人たちの深い郷土愛と並々ならぬ労苦が感じられ、これ等の努力が現在の福生町をささえていることを痛感いたしました。

村会議員として活躍した両氏のお話には、大正から昭和初期にかけての先代の人たちの深い郷土愛と並々ならぬ労苦が感じられ、これ等の努力が現在の福生町をささえていることを痛感いたしました。

村会議員として活躍した両氏のお話には、大正から昭和初期にかけての先代の人たちの深い郷土愛と並々ならぬ労苦が感じられ、これ等の努力が現在の福生町をささえていることを痛感いたしました。

村会議員として活躍した両氏のお話には、大正から昭和初期にかけての先代の人たちの深い郷土愛と並々ならぬ労苦が感じられ、これ等の努力が現在の福生町をささえていることを痛感いたしました。